

建設業における多能工推進セミナーを開催

(多能工のイメージ)



・開催スケジュール(セミナー時間: 14:00~16:40 受付開始: 13:30~)

日程	開催都市	会場
平成31年1月31日(木)	東京	浜離宮建設プラザ
平成31年2月1日(金)	札幌	北海道建設会館
平成31年2月4日(月)	大阪	エル・おおさか
平成31年2月8日(金)	高松	高松テルサ
平成31年2月9日(土)	広島	ワークピア広島
平成31年2月16日(土)	新潟	新潟県建設会館
平成31年2月18日(月)	福岡	福岡建設会館
平成31年2月25日(月)	名古屋	愛知県建設会館
平成31年3月4日(月)	仙台	フォレスト仙台

国土交通省では、生産性向上に有効な多能工育成・活用に向けた現状や手法、有効性などについて紹介する「多能工推進セミナー」を、全国9か所で開催します。

建設業では、将来の建設業を支える担い手の確保が喫緊の課題となっています。

今後とも建設業が「地域の守り手」として役割を果たすためには、担い手の確保を図るとともに、「生産性向上」についてもさらなる対策を進めていかなければなりません。

本セミナーでは、生産性向上に有効な一つの手段である「多能工」に焦点を当て、多能工育成の現状や手法、有効性についてや、働き方に関する取組事例などについて役立つ情報を提供します。

情報提供: 国土交通省

次世代住宅ポイント概要発表

国土交通省は消費税率10%への引上げ後の住宅購入等を支援する「次世代住宅ポイント制度」の概要を発表した。

一定の省エネ性、耐震性、バリアフリー性能等を有する住宅や家事負担軽減に資する住宅の新築やリフォームを行う場合を対象に、様々な商品等と交換可能なポイントを付与する。新築は最大35万円相当、リフォームは最大30万円相当のポイントを付与するほか、若者・子育て世帯がリフォームを行う場合等にはポイントの特例を設ける。

消費税率10%が適用される住宅の取得等で、2020年3月31日までの間に契約の締結等をした場合を対象とする。

次世代住宅ポイント制度の概要

平成31年度予算案: 1,300億円

1 制度の目的・概要

2019年10月の消費税率引上げに備え、良質な住宅ストックの形成に資する住宅投資の喚起を通じて、税率引上げ前後の需要変動の平準化を図るため、税率10%で一定の性能を有する住宅を取得する者等に対して、様々な商品等と交換できるポイントを発行する。

2 ポイントの発行

「環境」、「安全・安心」、「健康長寿・高齢者対応」、「子育て支援、働き方改革」に資する住宅の新築・リフォームが対象。

■対象とする住宅(契約等の期間)

	契約	引渡し
注文住宅(特築)・リフォーム	・2019.4~2020.3に請負契約・着工したもの(※)	
分譲住宅	・開業決定日~2020.3に請負契約・着工し、かつ売買契約を締結したもの ・開業決定日までに完成済みの新築住宅であって、開業決定日~2020.3に売買契約を締結したもの	・2019.10以降に引渡ししたもの

※税率引上げ後の反動減を抑制する観点から、開業決定日~2019.3に請負契約を締結するものでも、着工が2019.10~2020.3となるものは特例的に対象とする

住宅の新築(貸家を除く)

発行ポイント数: 1戸あたり上限35万ポイント

以下の①~④いずれかに適合する場合、1戸あたり30万ポイント

- ①エコ住宅 (断熱等級4又は一次エネルギー消費量を満たす住宅)
- ②長持ち住宅 (劣化対策等級3かつ維持管理対策等級2等を満たす住宅)
- ③耐震住宅 (耐震等級2を満たす住宅又は免震建築物)
- ④バリアフリー住宅 (高齢者等配慮対策等級3を満たす住宅)

※1 この他、家事負担軽減に資する設備の設置及び耐震性のない住宅の建替について一定のポイントを付与。(別紙「D オプションポイント」参照)

※2 上記に加え、より高い性能を有する住宅(長期優良住宅等)の場合には、ポイントを加算。(別紙「B 優良ポイント」参照)

住宅のリフォーム(貸家を含む)

発行ポイント数: 1戸あたり上限30万ポイント

※ただし、若者・子育て世帯によるリフォームや一定の既存住宅の購入に伴うリフォームの場合は上限を引上げ(別紙「A 特例」参照)

- ①窓・ドアの断熱改修
- ②外壁、屋根・天井又は床の断熱改修
- ③エコ住宅設備の設置
- ④耐震改修
- ⑤バリアフリー改修
- ⑥家事負担軽減に資する設備の設置
- ⑦若者・子育て世帯による既存住宅の購入に伴う一定規模以上のリフォーム工事等

※ この他、既存住宅の購入に伴うリフォームの場合はポイントを加算。(別紙「A 特例」参照)

※ 若者世帯: 40歳未満の世帯、子育て世帯: 18歳未満の子を有する世帯

情報提供: 国土交通省

リフォーム対応力高めた普及価格キッチン



ノーリツは、リフォーム現場への対応力を備えた普及価格帯システムキッチン「recipia」を4年ぶりに刷新して4月22日に発売する。

トクラスとの業務提携・共同開発による初めての製品で、ノーリツの空間対応力とトクラスの人造大理石カウンターを組み合わせた。

プラス1万円(税別)で間口を10mm刻みで調整できる「Just対応」や、奥行450mmのカウンターをL字に配置することで配膳スペースや収納を増やせる拡張プラン「つかエール」を装備。

また、間口が小さい既存流し台からシステムキッチンへの取り替えが可能な「コンロびったりプラン」を新たにラインアップした。

扉は、抽象柄や木目柄など3グレード・計25色から選べる。6万1000円~(I型間口2550mm、開き扉プラン)。

情報提供: 新建ハウジング